

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月14日		記入者	内線	3813
部 名	消防本部	課 名	救急対策課	課長名	永瀬 和昭
事務事業名	救急高度化推進事業				
予算上の事務事業名	救急高度化推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 消防力の強化				平成13年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
消防法第35条の5（救急業務）					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市消防力整備計画		救急体制の強化・充実 3 対応策 (2) 救急車両、資機材の高度化		
計画年次	13	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）	
救急高度化を図るため救急研修を充実し、救急救命士等の高度救急医療に対応できる職員の育成すると共に高度救急資機材の整備し、市民の救命効果の向上を図る。				市民	
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
・救急隊員基本研修	6月8日、9日	消防本部講堂	148名		
・救急救命士就業前研修	8当直4日勤	北里大学病院救命救急センター	6名		
・救急救命士生涯研修	3当直	北里大学病院救命救急センター	63名		
・気管挿管に伴う研修（座学）	4月・7月・2月	神奈川県消防学校	15名		
・気管挿管に伴う研修（実習）	4月・7月・12月・2月	北里大学・相模原協同病院	6名		
・救急科資格者生涯研修	10月・11月・12月	二次医療機関	10名		
・全国救急隊員シンポジウム	1月27日・28日	川崎市	15名		
耐刃防護衣の配置	3着	上鶴間救急隊			
救急外傷セットの配置	1セット	相陽消防隊			
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	368	282	17,273	17,258	18,000
一般財源	368	282	17,273	17,258	18,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計(a)	368	282	17,273	17,258	18,000
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	気管挿管病院実習		対象名称 (単位)	受講者数(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,533	3,675	3,675
対象数	0	0	6	7	7
単位あたり経費(円)			255,500	525,000	525,000
前年度比				2.05	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	受講人数(人)		指標式と指標の説明	受講者数 / 受講予定者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	6.0		
目標	0.0	0.0	5.0	7.0	7.0
目標達成度			1.20		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	達成度(%)		指標式と指標の説明	受講者数 / 受講予定者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	6.0		
目標	0.0	0.0	5.0	7.0	7.0
目標達成度			120.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		国が示す救急高度化推進事業を更に進め、平成17年度からは、薬剤投与が実施できる救急救命士を養成する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 更なる救命率の向上を図るため、救急救命士の研修を充実して進める。			14 課題として認識されたこと 薬剤投与研修が実施できる研修機関の確保		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			